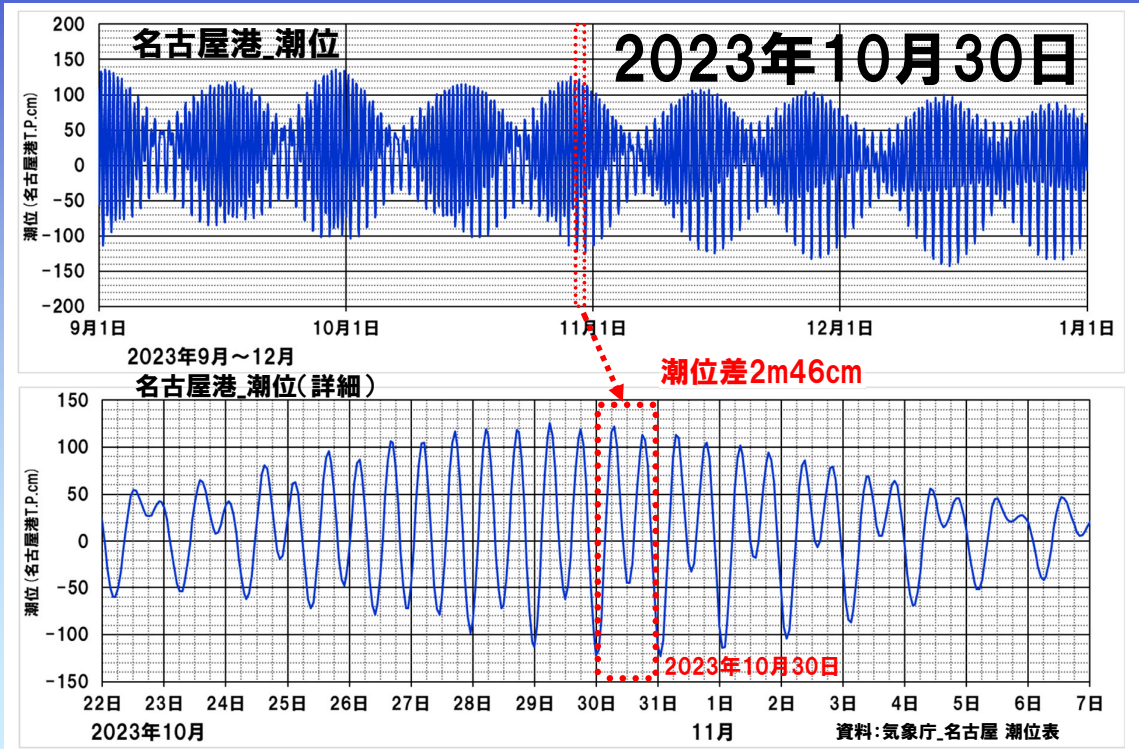


第18回 堀川一斉調査 実施日:2023年(令和5年)10月30日

月が地球の影に入る部分月食(10月29日)の日の翌日

市民の視点と感覚で
水位の変化が大きい時の堀川の様子を調べる



1

■ 調査方法

調査項目:定点観測の項目(いつもの項目)

*記録表は定点観測のものを利用してください。

記録写真:調査時の堀川の様子を写真で記録

記録写真は、携帯電話・スマートフォン等で撮影したもので結構です。以下のメールアドレスに送ってください。撮影場所と時間を忘れずに書いてください。調査をしている時のみなさんの様子も撮影して、送ってくださいね。待ってます。

メールアドレス:2010@horikawa1000nin.jp



調査結果は、ホームページ上の定点観測の入力フォームで報告してください。

<http://www.horikawa1000nin.jp/>

調査の結果は、スマートフォンなどからも入力が可能です。透視度やCODの測定値がなくても結構です。

定点観測結果
入力ホーム QRコード



～調査時の主な着目点～

過去に実施した堀川一斉調査では、水の“色”や“におい”や“あわ”などに変化があらわれました。

調査時に気づかれたことは、記録表の『9. その他、本日の調査で気づいたことがありましたら記入してください。』に記入して、ホームページ上の定点観測の入力フォームで報告してください。

(主な着目点)

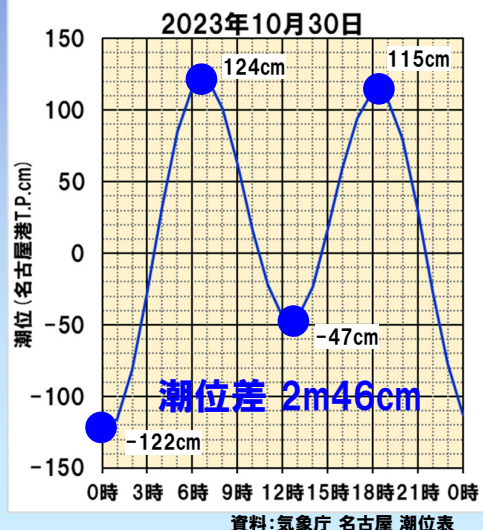
■水の色・におい・あわの変化

- ①中流域まで白濁(青潮)・赤潮が遡上する様子
- ②川底でヘドロが巻き上がる様子
- ③川底からあわが発生している様子

■その他の変化

- ①生き物の様子
- ②潮の先端の水面に集積する浮遊物の様子

■満潮位 (T.P.)	6時43分	124cm	18時20分	115cm
■干潮位 (T.P.)	0時19分	-122cm	12時32分	-47cm

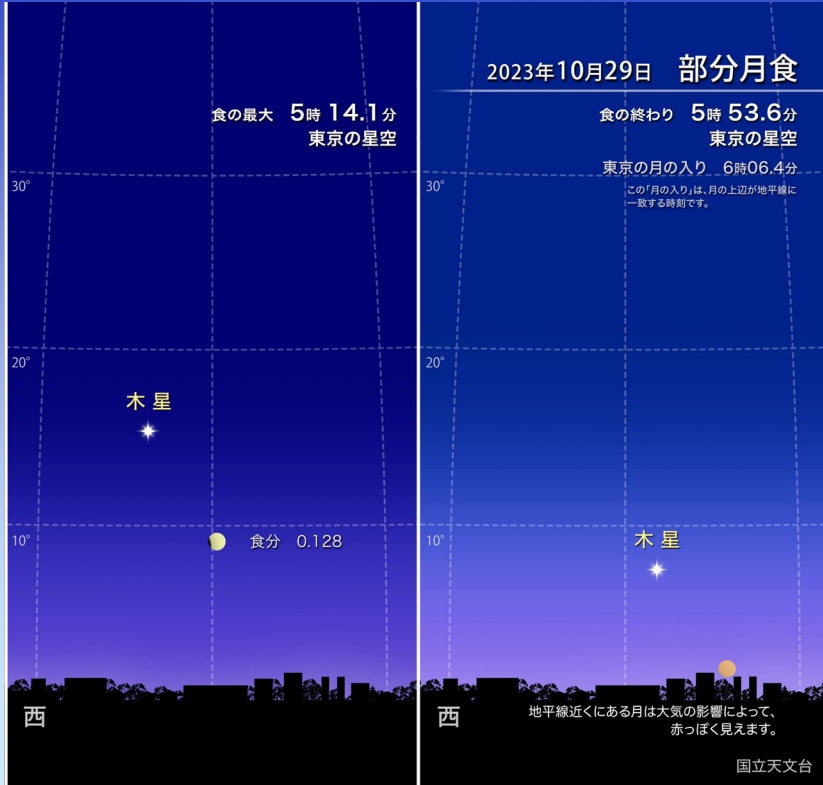


2

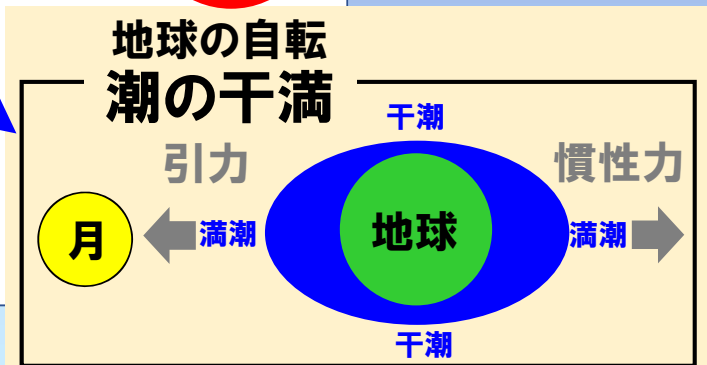
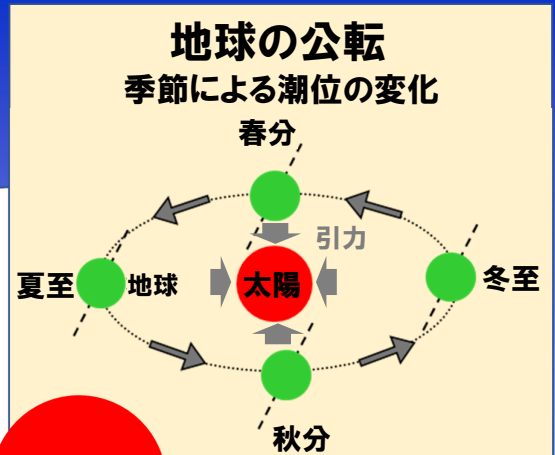
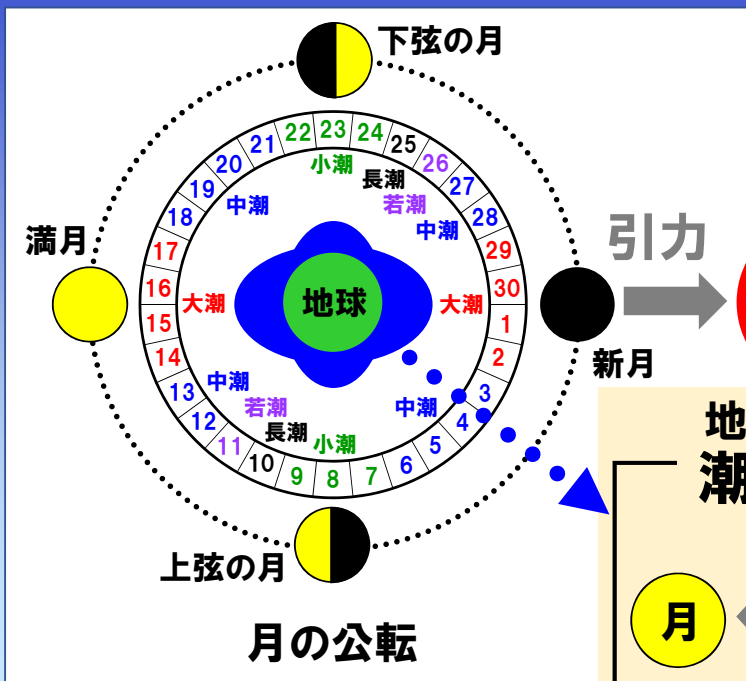
2023年10月29日 部分月食

月食の時…月・地球・太陽が一直線にならぶ
引力が強くなり、潮位(名古屋港)の変化が大きくなる

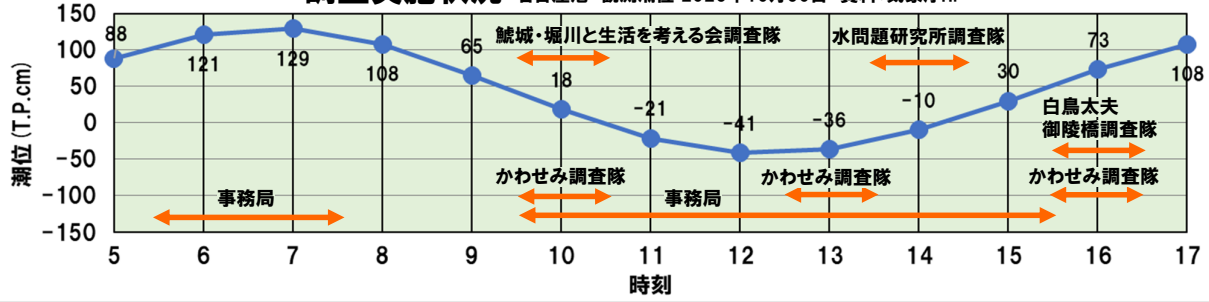
2023年10月29日5時37分
志賀橋付近 撮影:服部事務局長



(参考資料) 潮位の変化に関する 月・地球・太陽の位置関係



調査実施状況 名古屋港 観測潮位 2023年10月30日 資料:気象庁HP



(まとめ) 庄内川暫定導水 + 船の定期運航 (第18回調査)

水の汚れの印象が改善

水域・川底の環境の改善を確認

水域の希釈、貧酸素化の改善により、硫化物等の生成が減少

■ 庄内川暫定導水 (透有感あり・溶存酸素あり・泡が発生しやすい成分を含む)

水域の希釈、酸素の供給 下流に押し流す効果

■ 船の定期運航

水域・ヘド口の攪拌 酸素の供給、浮遊物質を沈降しにくくする効果→底泥が堆積、ヘド口化しにくい環境

(水域・川底の環境の改善に更なる期待)

- ・上流からの導水の水質改善と新たな水源の確保
- ・船の定期運航の実施と運航区間の拡大、運航頻度の増加



朝日橋下流 : 朝日橋上流



調査位置図

凡例 ● 調査実施地点

調査時の状況

項目	第15回 堀川一斉調査 部分月食 2021年11月19日	第16回 堀川一斉調査 皆既月食 2022年11月8日	第18回 堀川一斉調査 部分月食 2023年10月30日
庄内川暫定導水	あり○	なし×	あり○
堀川コース	運航区間	-	納屋橋～朝日橋
	運航期間	-	9月17日～11月27日_土・日・祝運航
	運航日数	-	11週_27日_1日8便(往復運航)
潮位 (T.P.cm) 気象庁:名古屋港実測値	最高	106	115
	最低	-98 (18日23時31分)	-110
	潮位差	204	225
気温 (°C) 気象庁:名古屋地方気象台	日平均	12.6	14.6
	日最高	18.8	20.6
	日最低	7.7	9.7

(まとめ) 庄内川暫定導水+船の定期運航 (第18回調査)

項目		第15回 2021年11月19日	第16回 2022年11月8日	第18回 2023年10月30日	3回の調査を比較した結果から想定できる現象と効果	
庄内川暫定導水		あり○	なし×	あり○		
堀川クルーズ		なし×	あり○	あり○		
水の汚れの印象	"きれい〜どちらともいえない"の割合(%)	堀川 猿投橋〜朝日橋上流	81%	55%	95%	庄内川暫定導水(透明感あり)が水域を希釈して下流に押し流す効果。
		堀川 朝日橋下流	63%	79%	81%	船の定期運航による水域・底泥の攪拌、酸素の供給、浮遊物を沈降しにくくする効果。庄内川暫定導水(透明感・溶存酸素あり)が水域を希釈・酸素供給・下流に押し流す効果。("白濁系"の色が減少)
		新堀川*	50%	62%	62%	*データ数が少ない
色の比較	"白濁系"の割合(%)	堀川 猿投橋〜朝日橋上流	19%	30%	5%	庄内川暫定導水(溶存酸素あり)により水域・底泥の貧酸素化が改善し、硫化物の生成が減少する効果(硫酸コロイド減少)。
		堀川 朝日橋下流	36%	37%	7%	船の定期運航と庄内川暫定導水により水域・底泥の貧酸素化が改善し、硫化物の生成が減少する効果(硫酸コロイド減少)。
		新堀川*	0%	0%	38%	*データ数が少ない
泡の比較	"上流からの泡"の割合(%)	堀川 猿投橋〜朝日橋上流	26%	11%	29%	庄内川暫定導水(泡が発生しやすい成分を含む)があると、猿投橋の落差の衝撃で泡が発生・下流に移動。庄内川暫定導水がない時(第16回)は上流からの泡は少ない。
		堀川 朝日橋下流	5%	9%	0%	上流からの泡はほとんどない。
		新堀川	0%	0%	0%	*データ数が少ない
	"川底からの泡"の割合(%)	堀川 猿投橋〜朝日橋上流	7%	16%	5%	庄内川暫定導水により水域・底泥の貧酸素化が改善(メタン・硫化物等の泡の生成が減少)。
		堀川 朝日橋下流	5%	0%	5%	船の定期運航と庄内川暫定導水により水域・底泥の貧酸素化が改善(メタン・硫化物等の泡の生成が減少)。
		新堀川*	0%	0%	0%	*データ数が少ない

水の汚れの印象が改善

水域・川底の環境の改善を確認

水域の希釈、貧酸素化の改善により、硫化物等の生成が減少

■ 庄内川暫定導水

(透明感あり・溶存酸素あり)

水域の希釈、酸素の供給、下流に押し流す効果

■ 船の定期運航

水域・底泥の攪拌・酸素の供給、浮遊物質を沈降しにくくする効果→底泥が堆積、ヘドロ化しにくい環境

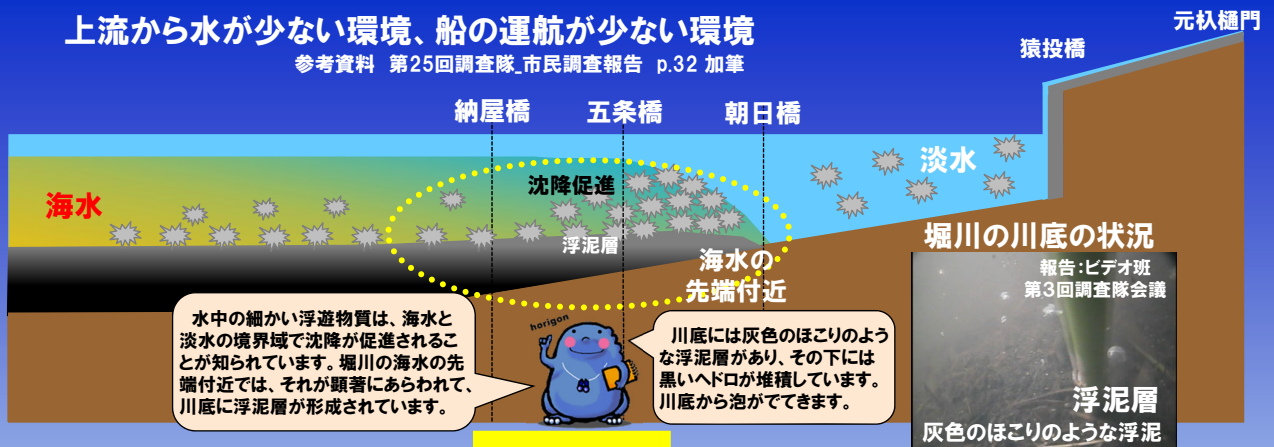
(水域・川底の環境の改善に更なる期待)

- ・上流からの導水の水質改善と新たな水源の確保
- ・船の定期運航の実施と運航区間の拡大、運航頻度の増加

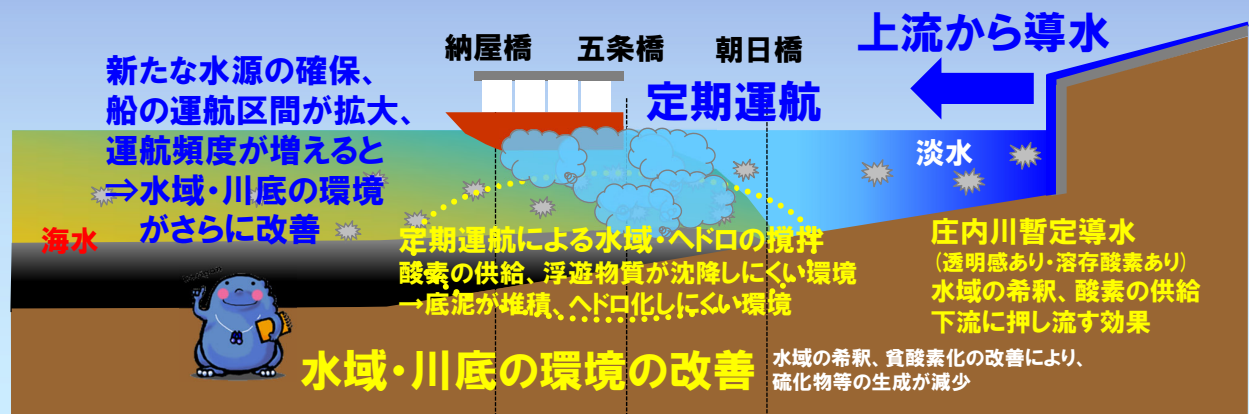


上流から水が少ない環境、船の運航が少ない環境

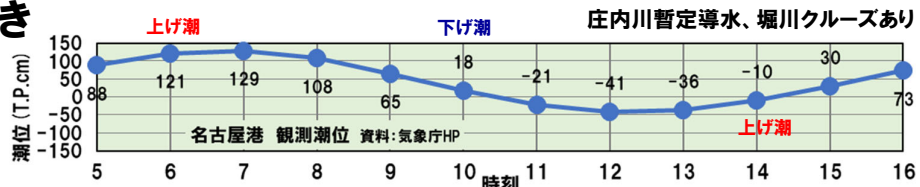
参考資料 第25回調査隊 市民調査報告 p.32 加筆



上流から導水がある環境、船の定期運航 (第18回調査)



流れの向き



2023年10月30日

地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋			↓						↓			
	志賀橋			↓						↓			
	黒川橋			↓						↓			
	北清水橋			↓						↓			
	東田橋		↓							-			
	田權橋		↓							-			
	金城橋		↑							-			
	城北橋		↑							-		↑	
	中土戸橋											↑	
	朝日橋												
	小塩橋												
	朝日橋～												
納屋橋													
中橋													
錦橋													
天王崎橋													
新洲崎橋													
日置橋													
古渡橋													
尾頭橋													
瓶屋橋													
御陵橋													
白鳥橋													
大瀬子橋													
大瀬子橋													
舞鶴橋													
富士見橋													
大井橋													
立石橋													
文音橋													
浮島橋													
内田橋													
新堀川													
舞鶴橋													
富士見橋													
大井橋													
立石橋													
文音橋													
浮島橋													
内田橋													

堀川の流れは、6時台に金城橋と田權橋間で上流向きから下流向きに転じています。7時～11時台は下流向きの流れになりました。その後、干潮時間帯となり流れが停滞しましたが、13時台の北清水橋～猿投橋間は下流向きの流れが続きました。14時台には中土戸橋～城北橋で上流向きの流れが観察されました。

注) 矢印は観測時の流れの向きを示す。

堀川



猿投橋



城北橋



朝日橋



納屋橋



松重橋



大瀬子橋

新堀川



舞鶴橋



立石橋



内田橋

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日

水の汚れの印象

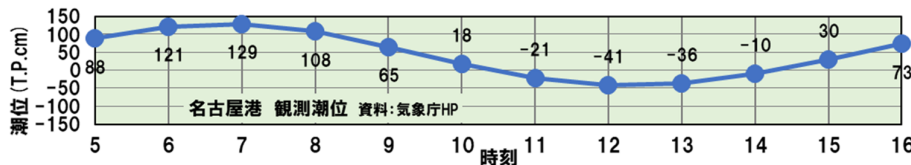
庄内川暫定導水、堀川クルーズあり

調査数:45

1:きれい 2:ややきれい 3:どちらともいえない 4:ややきたくない 5:きたくない

地点名	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋	▲		2↓					2↓			
	志賀橋	▲	“ややきれい”	2↓					2↓			
	黒川橋	▲		2↓					2↓			
	北清水橋	▲		2↓					2↓			
	城北橋	▲										
	東田橋	▲	3↓						3-			
	田橋	▲	3↓						3-			
	金城橋	▲	3↑						3-			
	城北橋	▲	2↑						3-			
	朝日橋	▲	2↑							1↑		
新堀川	中土戸橋	▲								1↑		
	朝日橋	▲										
	小塩橋	▲										
	五条橋	▲										
	納屋橋	▲										
	中橋	▲										
	錦橋	▲										
	天王崎橋	▲										
	新洲崎橋	▲										
	松重橋	▲										
堀川	日置橋	▲										
	古渡橋	▲										
	尾頭橋	▲										
	瓶屋橋	▲										
	御陵橋	▲										
	白鳥橋	▲										
	大瀬子橋	▲										
	舞鶴橋	▲										
	富士見橋	▲										
	大井橋	▲										
新堀川	立石橋	▲										
	文音橋	▲										
	浮島橋	▲										
	内田橋	▲										
	舞鶴橋	▲										
	富士見橋	▲										
	大井橋	▲										
	立石橋	▲										
	文音橋	▲										
	浮島橋	▲										

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。



堀川の猿投橋～北清水橋間は“ややきれい”が多い。これは透明感があつた庄内川からの暫定導水による希釈と下流に押し流す効果によるものと考えています。その効果は朝日橋付近まであつたと考えています。

朝日橋下流では“ややきたくない”が報告された。船の運航、庄内川暫定導水などによる印象の改善の効果は見られたが、まだ貧酸素化して硫化物が生成しやすい環境であつたと考えています。



堀川の白鳥橋と新堀川の浮島橋で“きたくない”が報告されました。白鳥橋は緑褐色の色で評価されていました。「塩分濃度が普段よりも高い値」であつたとコメントがあり、名古屋港の影響(プランクトンの増殖)と考えています。

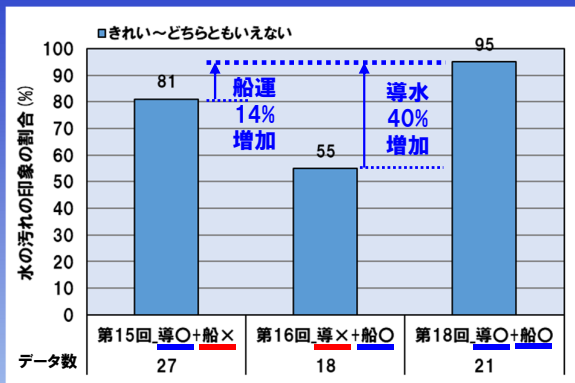
浮島橋はごみで評価がされていました。へドロの塊が多数浮遊していたようです。



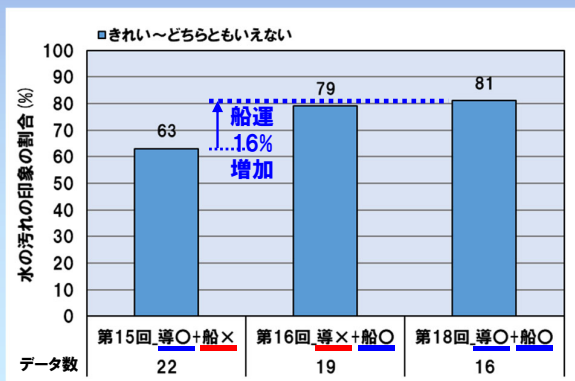
堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

水の汚れの印象の比較 “きれい～どちらともいえない”の割合

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流



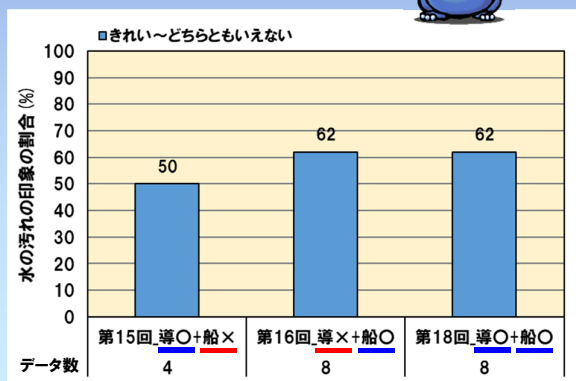
水の汚れの印象

(“きれい～どちらともいえない”の割合)

第18回(導○+船○)は、第15回(導○+船×)と第16回(導×+船○)よりも印象が改善していることが分かりました。

- 堀川・朝日橋上流
 - ・庄内川からの暫定導水 → 40% 増加 (改善)
 - ・堀川クルーズ(船運) → 14% 増加 (改善)
- 堀川・朝日橋下流
 - ・堀川クルーズ(船運) → 16% 増加 (改善)
- 新堀川…データ数が少ない

新堀川



データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日 **水の汚れの印象の評価** 庄内川暫定導水、堀川クルーズあり 調査数:45

堀川で“ややきれい”（印象）が報告された猿投橋～朝日橋間は主に“透明感”と“色”で印象が評価されていました。透明感での評価は、庄内川からの暫定導水の影響だと考えています。また、朝日橋から下流では主に“色”で印象が評価されていました。

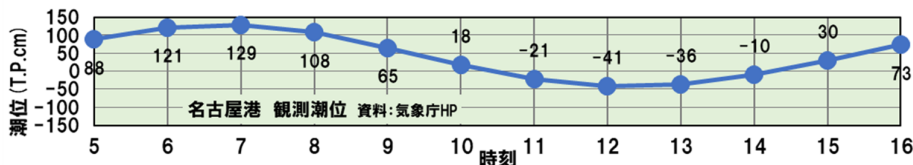


新堀川では主に“色”で評価されていました。



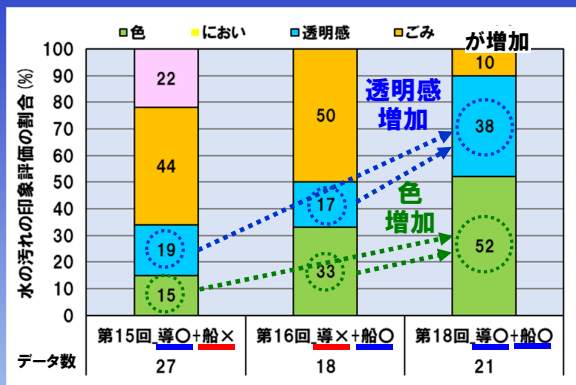
地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋～城北橋			1↓						3↓			
	志賀橋			3↓						3↓			
	黒川橋			1↓						3↓			
	北清水橋			1↓						3↓			
	東田橋橋		4↓							3-			
	田橋橋		4↓							1-			
	金城橋		1↑							1-			
	城北橋		1↑							1-		3↑	
	城北橋～朝日橋		1↑									3↑	
	朝日橋～納屋橋						1↓						
新堀川	朝日橋～納屋橋						4↓						
	中橋						1↓						
	錦橋						1↓						
	納屋橋～松重橋						1↓						
	天王崎橋							1↓					
	新洲崎橋								1↓				
	日置橋								3↓				
	古渡橋												
	尾頭橋											1-	
	松重橋～大瀬子橋							1↓				1↓	
新堀川	瓶屋橋												
	御陵橋												
	白鳥橋							1↓					
	大瀬子橋											1↑	
	舞鶴橋											1-	
	富士見橋												1↓
	大井橋						1↓						
	立石橋												1↑
	文音橋												
	浮島橋											2-	
内田橋											4↓		
											1↓		

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。

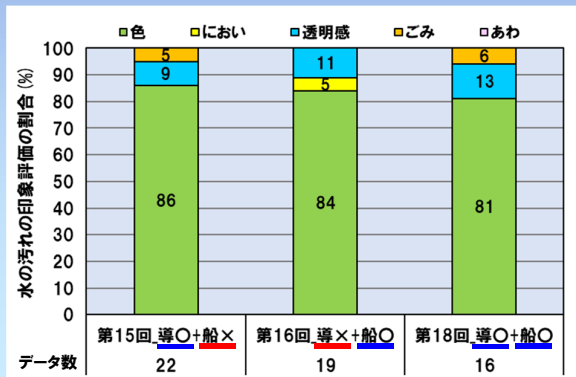


堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流



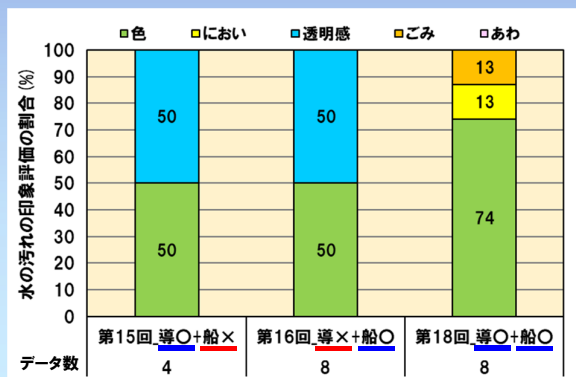
水の汚れの印象の評価

堀川・朝日橋上流区間では、第15回(導○+船×)、第16回(導×+船○)と第18回(導○+船○)の差から庄内川からの暫定導水(0.4m³/s)と堀川クルーズにより、色・透明感による評価が増加して、ごみによる評価が減少したことが分かりました。

- 堀川・朝日橋上流
 - 庄内川からの暫定導水、堀川クルーズ
 - 色・透明感による評価が増加
 - ごみによる評価が減少
- 堀川・朝日橋下流…顕著な傾向なし
- 新堀川…データ数が少ない



新堀川



データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日 色

庄内川暫定導水、堀川クルーズあり

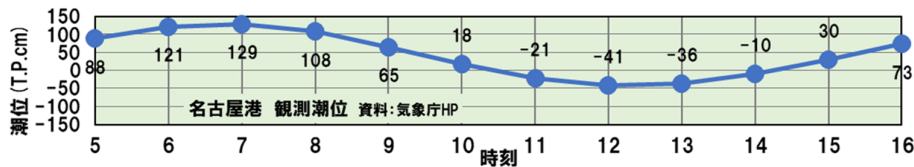
調査数:45

(凡例)

- 白濁系
- ② 乳白色
- ③ 淡灰黄緑色
- ⑫ 淡黄灰色
- ヘドロ系
- ⑥ 灰色
- ⑩ 灰緑色
- ⑪ 濃灰色
- 赤潮系
- ⑬ 黄褐色
- ⑭ 褐色
- ⑮ 緑褐色

地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋～城北橋			5↓						5↓			
	志賀橋			1↓						5↓			
	黒川橋			5↓						5↓			
	北清水橋			5↓						5↓			
	東田橋		5↓							5-			
	田橋		5↓							5-			
	金城橋		5↓							5-			
	城北橋		5↑							5-		9↑	
	中土戸橋		5↑									9↑	
	朝日橋							8↓					
新堀川	小塩橋						9↓						
	五条橋						9↓						
	納屋橋						8↓						
	錦橋						9↓						
	天王崎橋						9↓						
	新洲崎橋							9↓					
	日置橋							9↓					
	古渡橋							9↓					
	尾頭橋											9-	
	瓶屋橋											9↓	
松重橋～大瀬子橋	御陵橋												9↓
	白鳥橋												9↓
	大瀬子橋												9↑
	舞鶴橋												9-
	富士見橋												9↓
	大井橋												9↓
	立石橋												9↑
	文育橋												7-
	浮島橋												12↓
	内田橋												8↓

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。

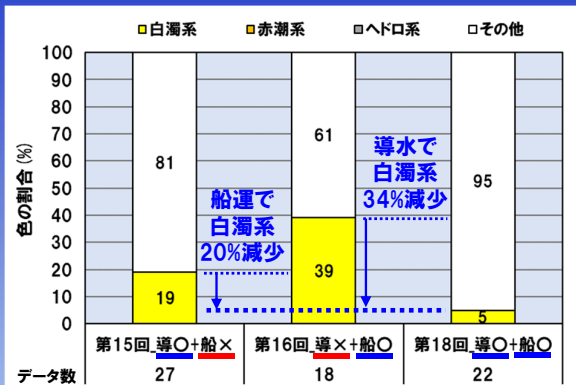


猿投橋～朝日橋間の水の色は、透明感があつた庄内川からの暫定導水が希釈・水塊を下流に押し流して「緑色」を呈していました。朝日橋～納屋橋間は、白濁系の色が確認されており、貧酸素化して硫化物が生成されやすい環境だつたと考えられます。瓶屋橋～白鳥橋付近では、赤潮系の色が確認され、「塩分濃度が普段よりも高い値」であつたとの報告もあり、名古屋港の影響(プランクトンの増殖)が考えられます。新堀川の上流端と合流点付近で白濁系の色が確認されており、貧酸素化して硫化物が生成されやすい環境だつたと考えられます。

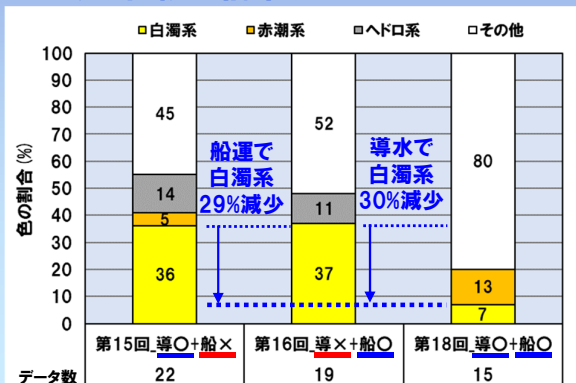
堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

色の比較

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流



色の比較

第18回(導○+船○)は、第15回(導○+船×)と第16回(導×+船○)よりも水が白濁する頻度が減少(改善)していることが分かりました。

堀川・朝日橋上流

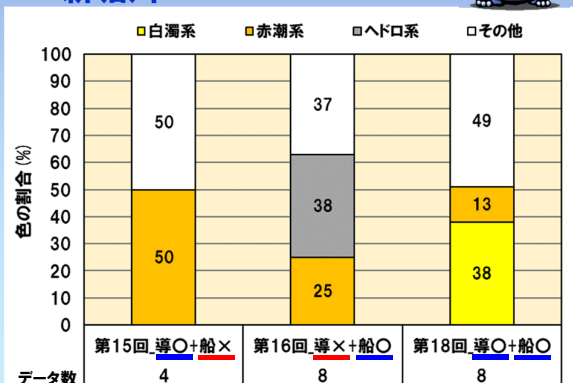
- ・庄内川からの暫定導水 → 白濁系34%減少(改善)
- ・堀川クルーズ(船運) → 白濁系20%減少(改善)

堀川・朝日橋下流

- ・庄内川からの暫定導水 → 白濁系30%減少(改善)
- ・堀川クルーズ(船運) → 白濁系29%減少(改善)

新堀川…データ数が少ない

新堀川



データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

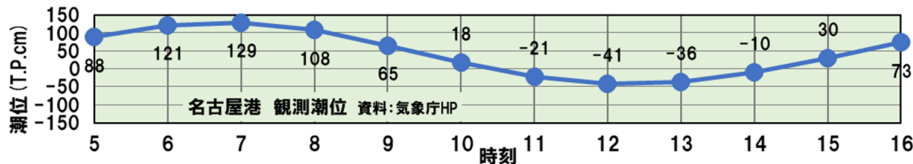
2023年10月30日 あわ

庄内川暫定導水、堀川クルーズあり

調査数:45

地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	遠投橋			2↓	2↓					0↓			
	志賀橋			2↓	2↓					0↓			
	黒川橋			2↓	2↓					0↓			
	北清水橋			0↓						2↓			
	東田橋		2↓							1-			
	田橋		2↓							0-			
	金城橋		0↑							0-			
	城北橋		0↑							0-			
	城北橋～朝日橋		0↑							0↑			
	朝日橋							0↓					
新堀川	朝日橋～納屋橋						0↓						
	納屋橋						0↓						
	納屋橋～松重橋						0↓						
	松重橋						0↓						
	松重橋～大瀬子橋						0↓						
	大瀬子橋						0↓						
	舞鶴橋												
	富士見橋												
	大井橋							0↓					
	立石橋												
文育橋													
浮島橋													
内田橋													

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。

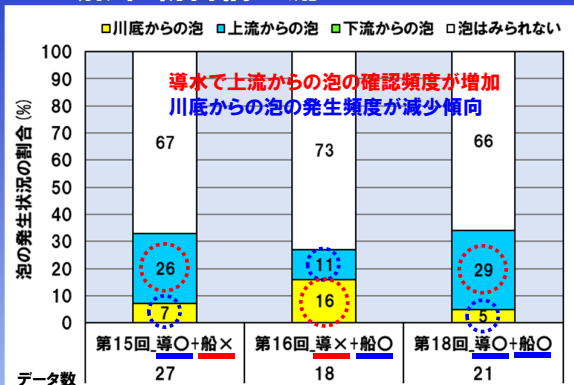


遠投橋～田橋橋付近では“上流からの泡”が観察されました。庄内川からの暫定導水に含まれる成分に由来するものと考えています。
東田橋橋、錦橋で“川底からの泡”が観察されました。貧酸素化して、嫌気性の気体(メタン、硫化水素など)が生成されやすい環境になっていたと考えています。

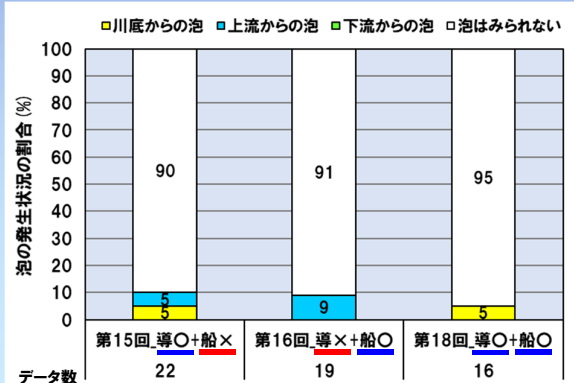


堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流



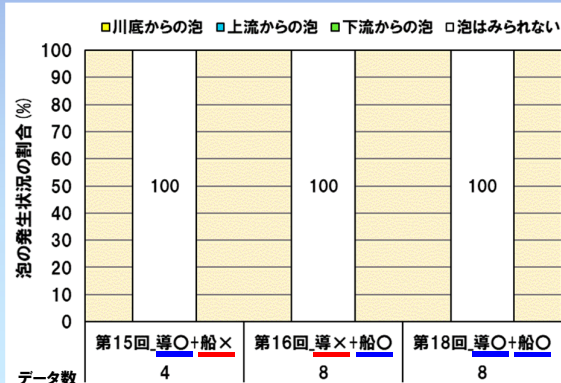
泡の比較

第15回(導○+船×)と第16回(導×+船○)と第18回(導○+船○)を比較すると、堀川・朝日橋上流では庄内川からの暫定導水があると上流からの泡の確認頻度が増加、川底からの泡の発生頻度の減少傾向が見られます。

- 堀川・朝日橋上流
 - ・庄内川からの暫定導水
 - 上流からの泡が増加(悪化)
 - 川底からの泡が減少(改善)
- 堀川・朝日橋下流…顕著な傾向なし
- 新堀川…データ数が少ない



新堀川



データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

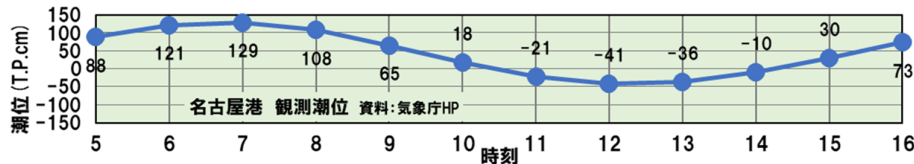
2023年10月30日 **にほんブログ村**

庄内川暫定導水、堀川クルーズあり

調査数:45

地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	
堀川	猿投橋			2↓	“ややにおう”					2↓	“ややにおう”			
	志賀橋			1↓						1↓				
	黒川橋			1↓						1↓				
	北清水橋			1↓						1↓				
	東田橋		1↓							1-				
	田橋		1↓							1-				
	金城橋		1↑							1-				
	城北橋		1↑							1-	1↑			
	城北橋～中土戸橋		1↑								1↑			
	朝日橋						1↓							
	小塩橋						1↓							
	五条橋						1↓							
	納屋橋						1↓							
	中橋						1↓							
	錦橋						1↓				1-		1-	
	天王崎橋						1↓							
	新洲崎橋								1↓					
	日置橋								1↓					
古渡橋								1↓						
尾頭橋											1-			
瓶屋橋							2↓	“ややにおう”			1↓			
御陵橋												1↓		
白鳥橋							1↓							
大瀬子橋												1↑		
新堀川	舞鶴橋											1-	1-	
	富士見橋												1↓	
	大井橋						1↓							
	立石橋												1↑	
	文青橋											2-	“ややにおう”	
	浮島橋											1↓		
	内田橋											1↓		

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。

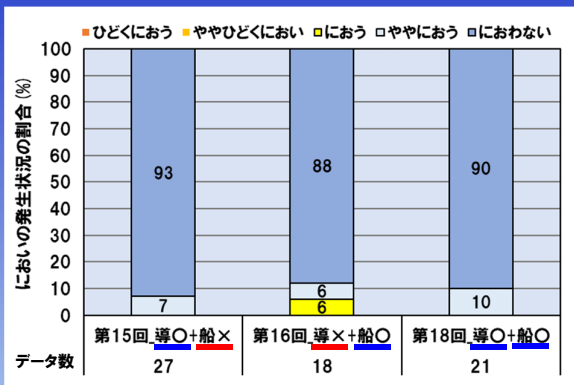


堀川の猿投橋と瓶屋橋、新堀川の文青橋で“ややにおう”が確認されましたが、今回の一斉調査では、**総じて“にほんブログ村”を感じない環境だったことが分かりました。**

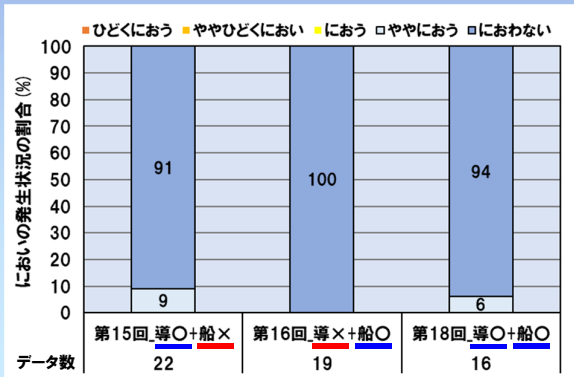


堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流

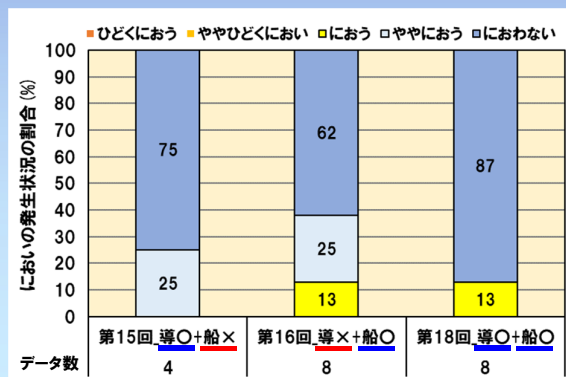


にほんブログ村の比較

第15回 (導○+船×)と第16回 (導×+船○)と第18回 (導○+船○)を比較すると、顕著な傾向は見られません。



新堀川



データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日

においの種類

庄内川暫定導水、堀川クルーズあり

調査数:45

猿投橋では“バルブ臭”が報告されました。庄内川からの暫定導水に含まれる成分に由来するものと考えています。

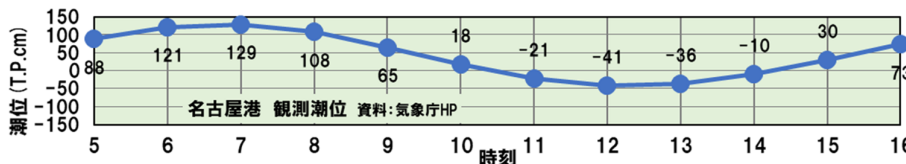


新堀川の文斉橋では“どぶ臭”が報告されました。水処理センターからの放流水に含まれる成分に由来するものと考えています。



地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋～城北橋			6↓	バルブ臭					6↓	バルブ臭		
	志賀橋			1↓	庄内川からの暫定導水に含まれる成分に由来					1↓			
	黒川橋			1↓						1↓			
	北清水橋			1↓						1↓			
	東田橋		1↓							1-			
	田橋		1↓							1-			
	金城橋		1↑							1-			
	城北橋		1↑							1-	1↑		
	城北橋～朝日橋		1↑								1↑		
	朝日橋						1↓						
	小塩橋						1↓						
	朝日橋～納屋橋						1↓						
	五条橋						1↓						
	中橋						1↓						
納屋橋～松重橋						1↓				1-			
錦橋						1↓						1-	
天王崎橋						1↓							
新洲崎橋							1↓						
日置橋							1↓						
古渡橋							1↓						
尾頭橋											1-		
松重橋～大瀬子橋						7↓	その他				1↓		
瓶屋橋													
御陵橋													
白鳥橋							1↓						
大瀬子橋												1↑	
新堀川	舞鶴橋											1-	1-
	富士見橋												1↓
	大井橋						1↓						
	立石橋								水処理センターからの放流水に含まれる成分に由来				1↑
	文斉橋											どぶ臭	4-
	浮島橋												1↓
	内田橋												1↓

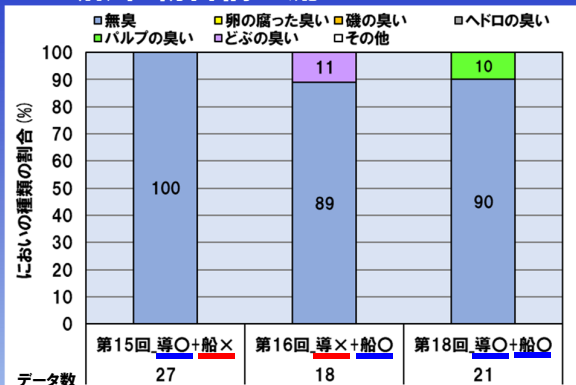
注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。



堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

においの種類の比較

堀川・朝日橋上流

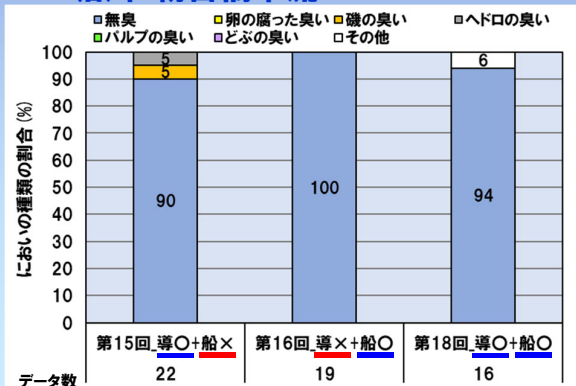


においの種類の比較

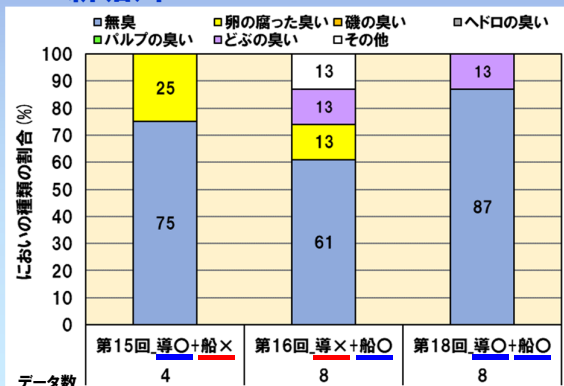
第15回 (導○+船×)と第16回 (導×+船○)と第18回 (導○+船○)を比較すると、顕著な傾向は見られません。



堀川・朝日橋下流



新堀川



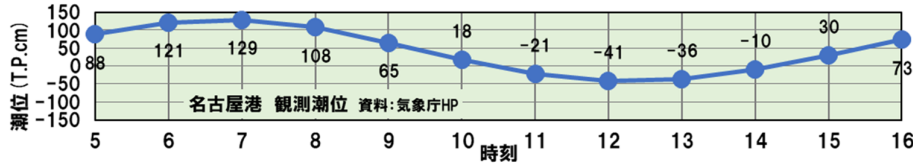
データ数が少ない

第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日 **COD** 環境基準_海域・環境→8mg/L以下 庄内川暫定導水、堀川クルーズあり 調査数:8

地点名	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋			*↓					*↓			
	志賀橋			*↓					*↓			
	黒川橋			*↓					*↓			
	北清水橋			*↓					*↓			
	東田橋		*↓						*↓			
	田橋		*↓						*↓			
	金城橋		*↑						*↓			
	城北橋		*↑						*↓	8↑		
	中土戸橋		*↑							8↑		
	朝日橋						*↓					
堀川	小塩橋					*↓						
	朝日橋～ 納屋橋					25↓						
	中橋					*↓						
	錦橋					*↓			10-			*-
堀川	天王崎橋					*↓						
	新洲崎橋					*↓						
	日置橋					*↓						
堀川	古渡橋											
	尾頭橋											
	瓶屋橋									*-		
	御陵橋									*↓		
	大瀬子橋											*↓
新堀川	舞鶴橋											*↑
	富士見橋											*-
	大井橋											*↓
	立石橋											*↑
	文吾橋											*-
	浮島橋											*↓
	内田橋											*↓
	舞鶴橋											*-

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。*印はデータがないことを示す。



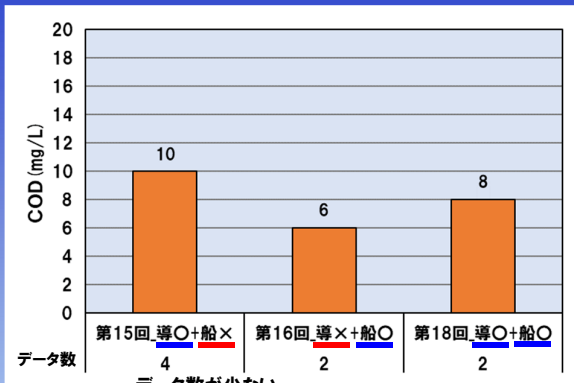
堀川に定められた基準はありませんが、環境省が定めた環境基準の海域・環境の値(8mg/L以下)と比較して評価をしてみました。

堀川の朝日橋～納屋橋間の五条橋と錦橋、新堀川の上流区間に位置する舞鶴橋と大井橋は、環境基準の海域・環境の値である8mg/Lを超過していました。特に堀川の五条橋が高い値でした。

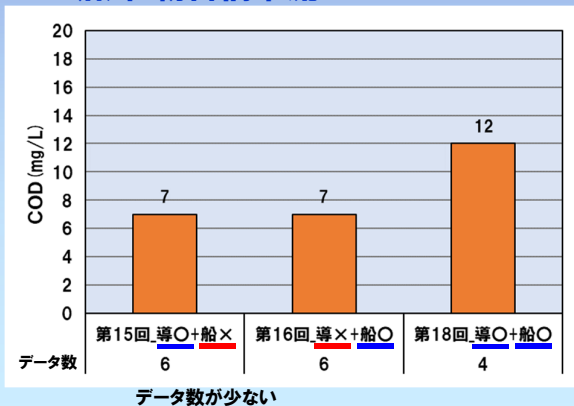


堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～ CODの比較

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流

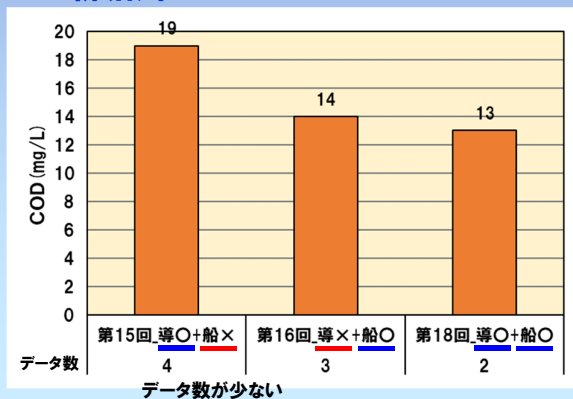


CODの比較

データ数が少ない



新堀川



第18回 堀川一斉調査結果 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

2023年10月30日

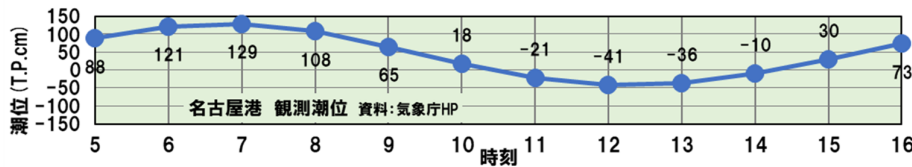
透視度

市民の許容範囲→70cm以上

庄内川暫定導水、堀川クルーズあり 調査数:8

地点名		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
堀川	猿投橋			*↓						*↓			
	志賀橋			*↓						*↓			
	黒川橋			*↓						*↓			
	北清水橋			*↓						*↓			
	東田橋			*↓						*↓			
	田橋		*↓							*-			
	金城橋		*↓							*-			
	城北橋		*↑							*-			
	中土戸橋		*↑								100↑		
	朝日橋							*↓					
	小塩橋							*↓					
	五条橋							51↓					
	中橋							*↓					
	鏡橋							*↓			100-		
	天王崎橋							*↓					*-
	新洲崎橋								*↓				
	日置橋								*↓				
	松重橋～大瀬子橋	古渡橋											
尾頭橋											*-		
瓶屋橋							67↓				*↓		
御陵橋													*↓
白鳥橋							88↓						
大瀬子橋													*↑
舞鶴橋											62-		*-
新堀川	富士見橋												*↓
	大井橋						90↓						
	立石橋												*↑
	文斉橋												*-
	浮島橋												*↓
	内田橋												*↓
	舞鶴橋												*-

注)数値の右側の矢印は、観測時の流れの向きを示す。*印はデータがないことを示す。



市民の許容範囲 (70cm以上)と比較して評価してみました。

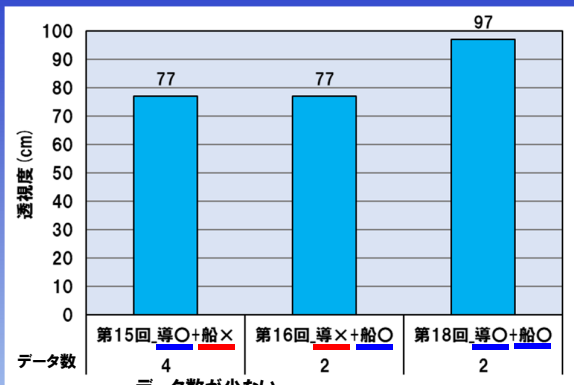
堀川の五条橋と瓶屋橋、新堀川の上流端に位置する舞鶴橋で市民の許容範囲である70cmを満足していませんでした。



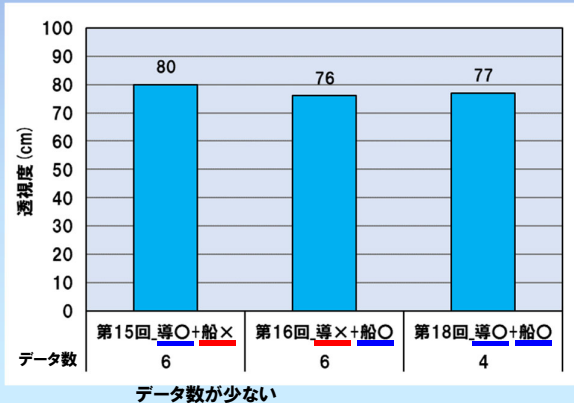
堀川一斉調査結果の比較 ～水位変化が大きい時の堀川・新堀川の様子～

透視度の比較

堀川・朝日橋上流



堀川・朝日橋下流



透視度の比較

データ数が少ない



新堀川

